

主要科目の特長（外国語学部英米語学科）

英米語学科のカリキュラムを構成する各科目群・分野の内容は次のとおりです。

(1) NGU 教養スタンダード科目

・キリスト教に関する科目

＜キリスト教＞に関する科目は、キリスト教主義大学である本学の核心です。必修科目の「キリスト教概説 1」「キリスト教概説 2」では、世界の文明に大きな役割を果たしたキリスト教を、人間、歴史、社会、生命などとの関わりにおいて考え、世界に通用するしっかりとした人間観・世界観を築く足がかりとします。

・自己理解と自己開発に関する科目

1 年生の必修科目である「基礎セミナー」では、少人数クラスで「大学で学ぶことの意義」について理解し、有意義な大学生活を送る足がかりを形成することを目的としています。さらに、大学での学びを促進させるスキルの習得をめざして、授業を受ける技術、プレゼンテーションの技法、情報検索の方法など、2 年次以上のゼミナール活動の基本となるスキルについて学ぶことを目標としています。また、「キャリアデザイン 1a～2b」などの科目を配置して、「将来なりたい自分とは何か」についてしっかりしたイメージを養うとともに、職業を考え将来のキャリアを設計するための足がかりとします。

・情報に関する科目

高度情報化社会の要請に応えるため、数理・データサイエンス・AI 教育の充実は、本学の情報教育の特色です。1 年次の「情報処理リテラシー（必修科目）」では、全学生に配付したノートパソコンを使って情報処理の基礎知識と基本スキルを学修します。また、「データサイエンスリテラシー」「データサイエンス概論」「AI 概論」「情報処理論」などでは、数理・データサイエンス・AI の基礎知識と様々な応用法、並びに近年のデータサイエンス分野の動向などを学修します。

・言語とコミュニケーションに関する科目

外国語については、「英語」を必修として学ぶほか、「ドイツ語」、「フランス語」、「スペイン語」、「中国語」、「韓国語」を学ぶことができます（学部によっては履修できない外国語もあります）。また、「日本語表現」を必修として学び、日本語表現法関連科目を学修することができます。

・社会的教養に関する科目

自分で考える力を養い、深みのある人間性を身につけるためには、一般教養の修得が欠かせません。本学では、＜歴史・文化＞、＜社会＞、＜自然・人間・生命＞、＜地域＞の 4 区分の学修を通じて、適切な教養の修得を目指します。

・教職に関する科目

ここに配置されている科目は教員免許取得をめざして教職課程に加入している者だけが受講できる科目です。実際に教員免許を取得するためには、教職課程履修規程にもとづき、この領域の科目に加えて、その他の指定された科目を履修する必要があります。

(2) 専門科目

《基礎科目群》、《発展科目群》、《第二外国語科目群》そして「演習」の四つから成ります。

- 1) 《基礎科目群》は、本学部でぜひ学んでいただきたい、英語や言語一般についての科目から成り立っています。この科目群のうち英語力強化をおもな目的とする科目では、英語の skills を定着させ、さらに磨きをかけていきます。これらの科目は少人数制で編成され、英語の実践的な能力（「話す、聞く、書く、読む」の4技能）を養うことを目的とします。このため、1年次必修科目の「英語」科目では、各学期に週4回（各90分）の授業をネイティブスピーカーの教員と日本人教員の連携により進めます。特に、「スピーキング」は、20名以下のクラスによって授業がおこなわれ、効果的に英会話能力を身につけることができます。「英語プロジェクト」はコミュニケーションスキルと言語知識を統合する科目で、自分の英語力をフルに活用して各学生が自分の興味に応じて選択したテーマについて調査しプロジェクトワークをおこないます。これまでの英語学習の基本的な部分に不安を感じている学生のために、習熟度別クラス編成を採用しています。現在の英語力と授業の難度・進度が合致し、学生が自信をもてるような編成です。うまく活用して英語力を伸ばすようにしましょう。

一方、《基礎科目群》には、教養ある話し手になるため皆さんに知っておいてほしい内容を提供する科目も含まれます。というのも、言語は文化や社会と密接に結びついたものであるからです。そして、こうした科目にも英語学習に役立つ情報が多く含まれています。

- 2) 《発展科目群》は《英語力発展科目》《国際社会科目》《キャリア形成科目》《外国体験科目》から成ります。《英語力発展科目》は《基礎科目群》で得た技能を土台として、より実践的な英語力の獲得をめざします。トピック別英語演習といった科目、ツーリズムなどで用いる実用的な英語を学ぶ科目、さらに、留学のための TOEFL（留学英語中級・上級）や就職で求められる TOEIC の対策コースも用意してあります。英語で話すことが前提とされる授業はいわば留学して授業を受けているのと同じです。英語学習自体が目的ではなく、英語を用いて授業に参加することによって、実践レベルでの英語運用力の開発をめざします。

<英語で実施される科目一覧>

■基礎科目群

英語 101 スピーキング	英語 101 スピーキング (再)	英語 102 スピーキング	英語 102 スピーキング (再)
英語 103 ライティング	英語 103 ライティング (再)	英語 104 ライティング	英語 104 ライティング (再)
英語 201 スピーキング	英語 201 スピーキング (再)	英語 202 スピーキング	英語 202 スピーキング (再)
英語 203 ライティング	英語 203 ライティング (再)	英語 204 ライティング	英語 204 ライティング (再)
英語 205 リーディング	英語 205 リーディング (再)	英語 206 リーディング	英語 206 リーディング (再)
応用言語学講義 1	応用言語学講義 2		

■発展科目群

留学英語中級	TOEIC 英語上級	ツーリズム英語	ビジネス英語
ニュース英語	グローバル英語	インターネット英語	グローバル・イシュー
トピック別英語演習 1	中級英語 1 読解&ディベート	上級英語 1 リサーチ&スピーチ	言語と文化
トピック別英語演習 4	中級英語 2 読解&ディベート	上級英語 2 リサーチ&スピーチ	言語と社会
英語プレゼンテーション	英語ビジネスディスカッション	英語ビジネスライティング	アメリカ研究 1
日本文化研究			

- 3) <<第二外国語科目群>>では「ドイツ語」「フランス語」「スペイン語」「中国語」の授業を提供しており、いずれも各言語に関する幅広い知識の習得と運用能力の向上をめざします。
- 4) 「演習」(3・4年次必修)は3年次から始まります。「演習」(ゼミ)に参加して、卒業にいたるまでの2年間、専門的な研究活動をおこないます。卒業するために、「演習」は3・4年次の2年間続けて履修しなければなりません。「演習」は英米語学科での学修の中核に位置し、学生生活の集大成をおこなう授業科目です。指導教員の指導のもと、自らの関心を広げ、課題を発見し、卒業研究をおこないます。

以上のように、本学科のカリキュラムは、受講者の力と関心に沿って学修ができるように編成されていますので、みなさんはその科目がもつ目的をしっかりと把握した上で受講してください。

(3) 演習科目

① 基礎セミナー

3・4年次の演習とは別に、1年次春学期には「基礎セミナー」を履修します。これは、新入生のみなさんが新しい大学生活を始めるための第一歩をお手伝いするための科目です。具体的には、名古屋学院大学はどんな大学なのか、大学ではどのように学習していけばいいか、レポートの書き方、発表のしかたなどについて学びます。

② 演習(ゼミ)

英米語学科では、3年次から「演習」(ゼミ)に参加して、卒業にいたるまでの2年間、専門的な研究活動をおこないます。卒業するために、「演習」は3・4年次の2年間続けて履修しなければなりません。「演習」はみなさんの英米語学科での学修の中核に位置し、学生生活の集大成をおこなう授業科目です。指導教員の指導のもと、自らの関心を広げ、課題を発見し、研究や議論を通じて問題を解決しながら、自らの能力の向上に努めるとともに、人格的な交流をとおして、多くの友人関係を育成し、また、指導教員との間にみなさんの学修にとって有意義なコミュニケーションのパイプを形成してください。

「演習」は、指導教員と学生、あるいは学生相互間での学問的な意見交換の場であり、各学生が主体的に活動を進めていく点が、他の授業科目と根本的に異なります。そこでは、自己の学問的見解を進んで発表し、これに寄せられるさまざまな意見を聞くことによって、専門的知識の水準を高めていくことが必要です。「演習」で作成される卒業論文は、みなさんにとってはじめての本格的な論文作成となり、貴重な経験として、卒業後も役に立つことになるはずです。

また、「演習」ではみなさんの進路指導もおこないます。指導教員、他の学生（または先輩学生）と相談をしながら進路を選択し、履歴書やエントリーシート作成、面接の準備などをおこないます。

◎専門科目の一部をピックアップ

<h3>英語プロジェクト</h3> <p>英語を使って様々なプロジェクトに取り組む授業です。英語必修科目で学んだ、聞く・読む・話す・書く、の4技能を活かし、英語“を”学ぶのではなく、英語“で”学ぶことで実践的な英語力を身につけます。</p> <p>主な身につく力</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> 課題発見力</div> <div style="text-align: center;"> 計画力</div> <div style="text-align: center;"> 発信力</div> <div style="text-align: center;"> プレゼンテーション力</div> <div style="text-align: center;"> 收斂力</div> </div>	<h3>日本語学1</h3> <p>日本語を学んでいる人たちに日本語を教えるときに必要となる知識（日本語の音韻体系や様々な文法的特徴）を学ぶとともに、それを教えるときの技術（例えば初級レベルの人にどう日本語を教えるか）を学びます。</p> <p>主な身につく力</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> 課題発見力</div> <div style="text-align: center;"> 探究心</div> <div style="text-align: center;"> 洞察力</div> <div style="text-align: center;"> 柔軟性</div> </div>
<h3>エアライン研究</h3> <p>この講座では、最新航空業界を分析した上で国内21社の研究を行うと共に、面接でチェックされる適性・パーソナリティを採用試験から分析。そして面接試験の実技の練習を行うことで、効果的で実践的な指導をします。</p> <p>主な身につく力</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> 実行力</div> <div style="text-align: center;"> 発信力</div> <div style="text-align: center;"> コミュニケーション能力</div> </div>	<h3>ツーリズム論</h3> <p>この授業では、西欧や日本における観光の発展を長期的視点から把握すると同時に、観光産業の特性や課題、今後の展開について学びます。そして、観光産業や観光行政・観光振興の将来を担う人材を養成します。</p> <p>主な身につく力</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> 課題発見力</div> <div style="text-align: center;"> 論理的思考力</div> <div style="text-align: center;"> 探究心</div> </div>